

【別紙3 年間指導計画】

建学の精神	1 誠実勤勉であれ 2 根性の持ち主であれ 3 つねに明朗闊達であれ
いじめ対応チーム	校長、教頭、生徒指導部長、 生徒指導副部長、保健部長、 各学年主任、代表科長、養護教諭、 キャンパスカウンセラー

学校教育目標 重点目標	1 豊かな人間性と人間関係の育成
	2 確かな学力の育成
	3 時代の変化に主体的に対応した「魅力ある県工づくり」の推進
	4 自己実現を図るキャリア教育の推進
	5 生徒の安全を守る取組の推進
	6 「兵庫の防災教育」の推進
	7 地域に信頼され、開かれた学校づくりの推進
	8 教職員としての資質と実践的指導力の向上
	9 「勤務時間の適正化 推進プラン」を踏まえた実効ある取組の推進

《年間指導計画》 (予定)

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	いじめ対応チーム委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画作成 職員会議 ※1	生活実態把握 ※2 → HR・特別活動計画に反映	生活実態アンケート ※2 個人面談・個人状況把握 ※3
5月	保護者向け啓発 (ネットいじめ含む) 育友会総会、保護者会 ※4	学級・学年づくり 人間関係づくり	
6月	事案発生時、緊急対応会議の適時開催	(体育祭)	いじめに関するアンケート ※5
7月		情報教育講演会 ※6 カウンセリングマインド研修 ※7	三者面談 個人面談 個人状況把握
8月	いじめ対策委員会 ・情報共有 ・2学期計画作成		
9月	職員会議	学級・学年づくり 人間関係づくり	個人面談等
10月			個人面談等
11月	保護者向け研修会	※8 (兵工祭)	いじめに関するアンケート
12月		人権教育講演会 ※9 情報モラル研修 ※10	三者面談・個人状況把握
1月	いじめ対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成 職員会議	(2年修学旅行)	個人面談等
2月			いじめに関するアンケート
3月	いじめ対策委員会 ・本年度まとめ ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正	次年度に向けクラスづくり (校内球技大会)	個人面談・個人状況把握

未然防止、早期発見に向けて

- すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。
- いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。
- 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。
- 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。

危機管理の心構え「さしすせそ」  
 さ：最悪を想定する  
 し：慎重に対処する  
 す：素早く対処する  
 せ：誠意を持って対処する  
 そ：組織全体で対処する

- ※1 職員会議  
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
- ※2 生活実態アンケート  
年度当初に、全校生に対して、休み中の状況把握と同時にいじめの実態把握のアンケートを実施する。
- ※3 個人面談・個人状況把握  
年度当初をはじめ適切な時期に個人面談を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。
- ※4 保護者向け啓発／研修  
ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。
- ※5 いじめに関するアンケート  
年に3回定期的に、全校生を対象とした「いじめに特化したアンケート」を実施することで実態を把握し、その結果を分析し、適切な対応を行う。
- ※6 情報教育講演会  
昨今のソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。
- ※7 カウンセリングマインド研修  
ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。
- ※8 学級・学年づくり／人間関係づくり  
1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについてLHR等で学習するとともに、ふるさと貢献活動等で体験する。
- ※9 人権教育講演会  
人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての講演会等を実施する。
- ※10 情報モラル研修  
人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての講演会等を実施する。